

旭川東高PTAだより

第22号

志望者必読

高
集
厚

「シマレガンバレ」
北海道旭川東高等学校標語

発行日：令和5年3月1日
発行：北海道旭川東高等学校PTA
編集：PTA広報委員会



頑張った
完走した

急歩大会

10月5日、コロナの影響で中止が続いていた急歩大会が、三年ぶりに石狩川河川敷で開催されました。初冠雪で旭岳の山肌がうっすら雪化粧し、旭川は今期一番の冷え込みでした。

生徒は花咲大橋をスタートし河川敷を上流に向かい、男子が16kmを2時間30分以内で、女子は12kmを2時間10分以内でゴールを目指します。例年は河川敷を折り返しますが、今年は護岸工事のため一部堤防を通る起伏のあるコースです。

お手伝いの保護者は、開会式後に車に分乗しコースの各ポイントで防寒着を着込んで生徒を待ちます。コース誘導、給水、体調不良者・事故への対応など大会運営をサポートします。



スタート時9時45分の気温は約10℃で風もすこし有り、立っているだけでかなり寒く感じます。赤いユニホーム姿の陸上部を先頭に、タイムを目指す子は一気に駆け抜けていきます。給水所の水を受け取る子は、保護者にお礼を返し談笑しながら和やかな雰囲気です。

開催中も陽が差したり小雨が降ったりと変わりやすい天候で、折り返し地点付近では強い雨で濡れた子もいます。必死でタイムを競う子、勉強しながら歩く子、三人四脚で足首が真っ赤になっている子、お菓子と笑顔を配りながら歩く子、かわいいお揃いのヘアスタイルの子など個性豊かな東高生が満載です。

ゴール付近では先生の声かけで最後の力を振り絞ってラストスパートをかける子もたくさんいます。ゴールした子は、生活委員会用意のドリンクを受け取り、喉を潤します。疲れて座り込む子もいますが、清々しい笑顔でキラキラ輝いています。閉会式までの間、友人を応援をしたりサッカーをしたり楽しそうに過ごしています。

完歩を目指し生徒それぞれのスタイルで急歩大会に取り組む姿が印象的でした。また来年も東高らしい賑やかな大会になることを祈っています。

お手伝い頂いた保護者の声

- *先頭集団が真剣に走っていてびっくりしました。給水も取らず速かったです。今日は寒かったので給水をとる生徒はそれほど多くなかったですね(給水係・1年保護者)。
- *寒い中、皆頑張っていました！子どもたちは、それぞれのペースで取り組んでいました(観察係・2年保護者)。
- *生徒に声援を送ると笑顔で返してくれたのが嬉しかった。グループでおやつを食べたり、歩いたり楽しそうだった(観察係・2年保護者)。
- *それぞれのスタイルで急歩大会に取り組んでいました。3年生はいい笑顔で寒さを忘れ、思い出作りを楽しんでいるように見えました。最初で最後のお手伝いは良い経験になり、楽しかったです(給水係・3年保護者)。



令和4年度

PTA教養講座

Shall we EHON?

～大人も「絵本」でコミュニケーション♪～



10月28日、教養委員会主催の教養講座「Shall we EHON? ～大人も「絵本」でコミュニケーション♪」が、新旭川地区センターにて開催されました。講師として絵本セラピスト協会代表の岡田達信氏をお招きし、絵本セラピーという考え方がどうしてできたのか興味深い話を伺いました。そして実際に「絵本を読んだから質問に答える」というワークを体験しました。

一級建築士を持つ岡田氏ですが、職場で人材育成業務に携わるようになり、心理学や自己啓発手法などの講義を受けるうちに、「自分に対する思い込み（自己認識セルフイメージ）」が自身の行動を左右すること学んだそうです。マインスの思い込みが行動を制限しているとしたらそれをどう変えていくのか、と考えた時にある絵本が思い浮かび、絵本を使うことで分かりやすく説明できる、楽しく深く理解できると気付くに至ったのだそうです。

今回の教養講座は五、六人ごとグループワークで、岡田氏による読み聞かせの後、設定された質問への回答をグループ内で話し合いました。これは絵本の読み取り方には自分の内面が投影されている、という考え方に基づきます。話し合いの中で、私自身すっかり

忘れ去っていた昔の出来事が、その後の自分の行動に影響していたことに改めて気づく、という興味深い体験をしました。

参加者にお話しを伺ったところ、「自分にはこのところ癒しが必要なので参加しました」「絵本が好きなので」「絵本でコミュニケーションンって何だろうと思う」「などの声とともに、「思いがけない絵本の楽しみ方を教えていただいた」という感想も聞かれました。

講座では複数人でしたが、絵本を通じて自分自身とのコミュニケーションを楽しむもよし、読み聞かせ合い感じたことを伝え合う相手がいるならそれもまたよしです。「絵本に描かれた世界の受け取り方や感じ方には、その人自身の人生が映し出される。」という言葉がとても印象的でした。絵本を通じて気づき、知り合うことがもたらす充足感が癒しなのかな、と講座を振り返って思います。

岡田氏は最後に「高校生のお子さんにも絵本の読み聞かせをお願いしてみてください。照れながらも意外と読んでくれたりしますよ。」と話されていました。親子のコミュニケーションにちょっとした変化が生まれるきっかけになるかもしれません。

絵本でコミュニケーション、ぜひお試しください！



定時制からの風

～後期の定時制の風景です～

10月20日(木)・21日(金)

宿泊研修〈ネイパル深川〉

クラスの一員としての自覚を高め、仲間との連帯感を深めること、節度ある行動を心掛け、個人の責任感や自主性を養うことを目的に、2学年の宿泊研修を行いました。マイ箸づくりでは、普段使いの箸や料理に使う菜箸など、真剣に、集中して作成しました。翌日には旭川家具「コサイン」で社会見学をし、家具製作の工程を学びました。



12月21日(水)

レクリエーション大会

生徒会執行部員が新体制となって初めての行事です。全校生徒が楽しめるようにと、試行錯誤しながら準備を進めていました。学年対抗ドッチビーは、どの試合も白熱した戦いで、見ている側も力が入りました。



授業の様子



▲4年生 ALTグレース先生とクリスマス



▲3年生 体育でのバスケットボール



▲1年生 タブレットの活用



定時制では、令和を生きる生徒たちへ**明かり**を灯し、**ほっと**できる場所であるべく、教育活動に取り組んでおります。

3学年 活動報告



三学年委員長
齋藤 一恵

保護者の皆様、あつという間に卒業ですね。嬉しいけれど寂しさもありますね。

この三年を振り返ると、子供たちの学校生活はもちろんPTA活動は、コロナによって制限を余儀なくされてきました。今年度はようやく行動制限が緩和の方向となり、三学年PTAとして何とか活動したいという強い思いがありました。

そのような思いを持つ六名の役員で考えたアイデアが学校祭でのイベント開催でした。タイトルは「受験チャンネル」先輩保護者からのメッセージ。大学受験までの親の準備や気持ちを保護者と共有することが主目的です。学祭開催中の二日間、来校した保護者の方々は掲示した体験記を真剣な表情で読み、中には涙を滲ませる姿もありました。また、コロナ禍で保護者同士の情報交換がなく、何も分からず不安に思う親御さんと対面で話せる大変貴重な場になりました。イベント会場にはBGMを流し、子供たちの行事写真を映しだし、限定タオルの販売をしたりと、学祭の雰囲気も味わいながら初めてのイベントを終えました。

この受験チャンネルは、校長先生はじめ担当先生や生徒会執行部の賛同とご協力がなければ通らなかつた企画であり、また一昨年、昨年に体験記を残して下さった役員の皆様や今年手記を提供して下さいました保護者の方々のご協力があったからこそできたイベントでした。

もしも世の中のコロナ感染がなければ、私はおそらくこれまでの学年PTA活動を踏襲し三年間のPTA活動を終えていたのだらうと思うと、こうして新たな活動にチャレンジできたこと意義を深く感じています。これまでにご協力ご理解頂きました教職員の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。最後に、旭川東高のPTA活動がこれまで以上に色とりどりになってくれることを願っています。



三学年部による 合格祈願



10月15日 三学年部役員全員で上川神社へ合格祈願の参拝をしてくださいました。上川神社には学問の神様、菅原道真公が祀られている旭川天満宮があります。三学年部から「合格祈願鉛筆」を三年生全員に贈呈しています。各クラスごとに授与された絵馬に書き込みをしてもらい、11月2日に奉納をしていただいたそうです。三学年部の皆様ありがとうございました。

三年生の合格を心より祈っています！



2学年 活動報告



二学年委員長
佐藤 章江

二学年委員会では、昨年度と同様に「enjoy旭東Life」を目標に活動してきました。保護者の皆さんが知りたい情報を提供すること、子ども達の活動をサポートすることを中心に話し合いを進め、行事の様子をYouTube配信する活動と「学校祭」「球技大会」でドリンクを配布する活動に取り組みました。

「学校祭」では事前準備の様子や開祭式、クラス展示などの様子を二学年主任の齋藤先生よりYouTube配信していただきました。仮装パレード後のドリンク配布では、先生方のご協力のおかげで役員から直接子ども達にドリンクを届けることができました。炎天下の中、冷たい状態で渡せるように配慮して頂いた役員の方のおかげで、子ども達の嬉しそうな姿を見ることができました。

今年は三学年委員会が東高祭で実施した「受験チャンネル」を見学させて頂きました。コロナ禍で学年委員会の活動を模索しながら進めてきましたが、次年度はこの活動を参考にさせて頂き、コロナ禍でも継続して取り組めるPTA活動を目指したいと考えております。



最後に学年委員会の皆さん、教職員の皆様、PTA活動を支えていただき本当にありがとうございます。次年度もどうぞよろしくお願ひ致します。



1学年 活動報告



一学年委員長
杉山 利勝

今年度の一学年委員会は、「ともに歩もう 旭東新生活」を目標とし、子ども達が充実した学校生活を送るための大切な一年目にしっかりと寄り添って、支えていくための活動をしよう決めました。

従来実施されていた先生および保護者同士の飲食を伴う会合は開催が難しいため、学校内でクラス単位の懇談会を実施することとしました。

事前のアンケートで話題を整理し、先生のご提案でワールドカフェという方式をとることで、先生と保護者同士が普段感じている様々な不安や疑問について、楽しく懇談する場を提供することができました。懇談会実施後のアンケート結果もおおむね好評で、二月に二回目の開催を目指し、準備を進めているところです。

コロナ禍も三年目となり、社会全体の制約の中、子供たちは少なからず影響を受けております。コロナを軽んじることは許されませんが、過度に恐れることなく、子供たちの活動の幅を広げたいけるように、しっかりとサポートしていきたいと考えております。

最後になりますが、一年生の先生方、委員の皆様、一緒に活動を支えていただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。次年度以降も引き続きよろしくお願ひいたします。





生活委員長 山岸 早苗

今年度の生活委員会は昨年に引き続き「学年の壁を越えPTA活動を
楽しみましよう」を目標として取り組んできました。

まず一番大きな活動として、三年ぶりに学校祭での「東(とん)カフェ」
を復活させる方向で動き始め、コロナ禍という事でカフェではなく、バ
ザー形式での出店をする事にしました。

初めての試みで色々と手探りの中ではありませんでしたが、経験豊富な委員
が多く、また商品調達・会場装飾・会計の各係に分かれて準備を進める事
で効率よく作業ができました。

販売当日も多くの方に購入のご協力を頂きスムーズな運営ができた
が、商品の入荷数など反省点があるので、来年度に生かしていきたいと
思います。

その他の活動としましては、「学校祭での
仮装行列の交通整理・審査」と「急歩大会のお
手伝い」がありました。

どちらも子供達の活動を間近で見ることが
でき、コロナ禍においても青春を謳歌してい
る様子を感ずることができました。

生活委員会の活動にご理解ご協力頂きま
した生徒・先生・保護者の皆様本当にありが
とうございました。



教養委員長 三宅 和博

今年度、私たちは「繋ごう 学びをその先へ」というテーマを掲げまし
た。コロナの発生から三年目の教養委員会の活動もまだまだ厳しい状況に
変わりありませんでした。しかし、東高PTA教養講座を何とか繋げてい
きたいそれだけでした。

一年目は、試行錯誤も未知のウイルスに講座は開けず。しかし足がかり
は掴みました。

二年目、行動制限のある中、安全を優先させてZOOMによる、ズンバ
(ダンス) 講座の配信。元気が出ました。

そして、今年度、行動制限の緩和を受け、リアルな開催に踏み切りました。
今回は絵本セラピストの岡田 達信先生を招き、消毒・検温等のご協力
のもと、35名の参加を頂きました。今回の講座では、絵本を読み絵を読
み、それぞれがどう受け取るか考えました。絵本でこの様に考える事はあ
りませんでした。ご参加頂いた方には何らかの気づきにつながったのでは
ないでしょうか。著作権の問題もあり、YouTubeでの配信ができなかったのが、
残念でした。

今年度の活動も一度の講座で終了となりま
したが、教養委員の「行動力と心くばり」担
当教諭の太田先生のおかげで講座を開催する
事ができました。また教養委員会の活動にご
理解とご協力を頂きましたすべての皆さまに
感謝いたします。

次年度も制約はあるかと思いますが、東高
PTA教養講座は、これからも続きます。

活動を通して保護者同士、保護者と学校、
ときには、生徒も交えた「繋がり場」となる
事を願っています。ありがとうございました。





令和四年度を振り返って

PTA会長 北岸 睦

会員の皆様には日頃よりPTA活動にご理解、ご協力賜りましてありがとうございます。

コロナによる私たちの生活環境が変わってからもう三年がたち、社会や経済活動も従前のようにはなりません、少しずつ戻りつつあります。

そのような中で、今年度の学校活動は学校祭や見学旅行、急歩大会などの学校行事が開催され、また部活動の大会でも数多くの活躍が見られたことなど、子どもたちにとって高校生活を楽しめる機会が昨年までより多くなったことは、親としてとてもうれしく思いました。

特に夏の高校野球では、東高野球部が53年ぶりに北海道大会決勝に進出し、全校生徒及びOBを含めた保護者による白熱した応援のなか、残念ながら甲子園出場はあと一歩及びませんでした、それでも見事な準優勝となり、たくさん感動をあたえてくれました。

また、PTA活動としましては、学校祭での来場者向け軽食販売や保護者向け受験経験談ブース設置、急歩大会での給水や地点観察など学校行事へのサポート、保護者を対象とした教養講座の開催、三年ぶりとなるPTA全国大会への参加など、コロナ前の活動に近づきつつあった年でした。

一方、世界的な情勢をみると、ロシアのウクライナ侵攻による戦争やそれに影響した国内経済の物価上昇、円安の加速など不安な要素も多くあった一方で、サッカーワールドカップの日本代表や東高卒の陸上やり投げ北口榛花選手の世界での活躍など、明るいニュースもあつた激動の一年といえる年だったと思います。

このような目まぐるしく変わる環境はこれからも続くと思いますが、私たち親や子どもたちには、柔軟な対応と新たな発想が求められる時代になってきていると感じています。

集記 編後



広報委員長 小林 弘典

今年度の広報委員会は、「柔軟に、出来ることに全力で、二誌発行を目指す」を目標に掲げ、私たち広報委員はこの一年間取材や記事作成に取り組んできました。

お陰をもちまして、三年ぶりに前期号・後期号の二誌を発行することができました。これもひとえに、ご協力いただいた皆様、先生方にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

まだまだ制限がある中、共に活動していただいた広報委員の皆様にも感謝の気持ちでいっぱい입니다。この広報委員会の活動が、活発なPTA活動を実感できる場であることを再認識することができました。

最後になりますが、この「大空まどか」をお読みいただいた皆様、少しでもPTA活動に御理解いただき、これからも「PTAの和」を広がることを願っております。

一年間ありがとうございました。

広報委員

- 上野 明美、高橋みゆき
 - 高橋 佳奈、菅原恵美子
 - 小野 孝子、杉野 美香
 - 河合 俊徳、佐々木由美
 - 阿部 華織、上田 紫乃
- 本部
近藤 英恵、丹代 晶子

